ふじやまだより

第6号
発行
2003年
6月15日
本郷ふじやま公園
運営委員会

バードウォッチングもできる本郷ふじやま公園

里山部会　宗森英夫

新緑の季節、若葉が芽吹き、それを餌とする昆虫の幼虫たちが卵から孵化して大発生します。早春に巣づくりし、この季節に雛が育つ野鳥たちには、雛の餌が豊富な時期が子育てに適している訳です。

毎日、コジュケイの「ちょっとこい、ちょっとこい」という大きな鳴き声が聞かれますが、雛を何羽か引き連れて、藪の中をごそごそと歩き廻っている姿が見られます。キジバトよりやや小型で丸い体をしたニワトリ型の鳥で、あまり飛びませんが、夜は木の上で寝ます。キジバトは人を恐れず、近づいてもあまり逃げません。

芝生の広場では、ムクドリの群れが餌を探して歩き廻っています。冬には30～60羽位の大きな群れをつくりますが、今の季節では5～8羽位の群れです。くちばしと足がよく目立つ橙色なので見分けやすい鳥です。

ヒヨドリも大きな鳴き声で喧しく騒ぎます。昆虫や木の実を食べますが、桜の花の季節には、花の蜜を吸うため、花を柄のところから食いちぎってしまいます。

シジュウカラやメジロの雛は、巣立ちした後も、しばらくの間、親から餌をもらいます。幼鳥が枝の上で親から口移しに餌をもらっている姿はほほえましいものです。

コジュケイ

ハシブトガラスが２００羽以上、本郷ふじやま公園をねぐらにしていて、古民家の萱葺き屋根のカヤを巣材として引き抜きに来ます。カラス除けのネットが張ってあるのですが、あまり効果はないようです。カラス対策の妙案があれば是非お知らせください。

冬には、ツグミやシロハラ、モズ、オナガなどもやってきます。古民家ゾーンがまだ整備されず、八幡社裏一帯が畑だった頃には、夏にはキジがよく来ていましたが、環境がすっかり変わって最近では姿を見かけなくなりました。どこへ行ってしまったのでしょう。

ふじやま公園古民家周辺地理の概要

古民家歴史部会　木島　健司

この古民家は鎌倉郡本郷鍛冶ヶ谷村の「ふじやま」にあります。本郷六村の一つで江戸より十二里の所です。西は日野から七曲がりを経て駒形観音堂橋を渡り旧天神橋から笠間に至る旧鎌倉街道(ほぼ今の鎌倉街道)。南はふじやまの山裾を流れる、小独川沿いの公田からの大橋を経て金澤・峰・杉田道（現４号線の山寄りの道）。東は大橋から相武国境を越え日野を経由する横浜道（現港南台駅前から中野町経由のバス道）。北は相武国境の尾根道(現栄区と港南区の区境）に囲まれた位置にあります。

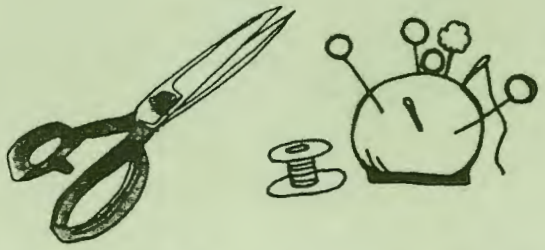
公園は約28,000坪あり、古民家のある敷地は約500坪です。「ふじやま」は海抜８２ｍで、山頂に富士講碑があります。公園の西には富士の霊峰が眺められます。南には横浜市最高峰の大平山標高159,4mがあります。

山頂にある富士講の石碑

「つどい」の味わい

工芸部会　遊布担当　　萬　矢　和　恵

「昔の布って味があるネ」「この色柄すてき」「縫い目が曲がってしまうわ」「誰にプレゼントしようかしら」などと、手も口もフル回転の工作教室。“布遊び”を軸に集った人たちが、もう前前からのお知り合いのように和して燃えている、このひととき、古民家を取り囲む緑の芽吹きと共に、輝かしいものでした。「手を使って自分だけの何かを創り出す幸せ」これを一人っきりでなく仲間と楽しみながら味わうこの喜びこそ宝物と信じています。



来園に際して

北エリアには来園者用の駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

- 本郷台駅から徒歩で約30分
- 最寄りのバス停「鍛冶ヶ谷町」(徒歩約10分)、「元大橋」(徒歩約9分)、「中野町」(徒歩約7分)

また、車で来園の際は、南エリアの弓道場の有料駐車場(30台収容)をご利用ください。路上駐車は、近隣の迷惑となりますので、ご遠慮ください。

土・花・作物に語りかけての農芸作業

～ 小判草　鳴るやと思ふ　ほど揺る　　東郵 ～

農芸部会　小宅そのえ・遠山　隆

ふじやまの木々の緑が一層深みを増してきました。その樹間越しに古民家を臨みながら爽やかな初夏の風を受けて農芸作業にいそしんでいます。私がボランティアで参加させていただいた、長屋門右側に位置する花壇の土盛りは、青空に浮かぶ富士山を背にして心地よい汗を流す楽しい活動でした。山の斜面から運び耕された土は、「いい土だ、いい土だ」と参加した人々から口々にほめられ、実に土も喜んでいるようでした。

ホタルブクロ

竹林から間伐した竹を利用して作った囲いも行儀よく並んで、花の小径をかたどっています。今は山野草<コバンソウ、ホタルブクロ、ユキノシタ>の花が緑の風に揺れながら風情ある姿で咲いています。

畑は、4-5 月に植え付けた、或いは種から育てた苗が順調に育ち日ごとに畑らしくなってきました。藍、赤ジソ、トウガラシ等はふじやま公園の体験教室に使ってもらえそうです。土・花・作物に語りかけながらのものです。

古民家や緑の森が織りなすふじやま公園ならではの花壇・畑づくりを目指して、訪れる人々の心安らぐ場所であったらと願っています。

或る日のいろり端の風景

いろり守りの会　　新野捷敏

「イヤー、懐かしいなぁ、囲炉裏がある。この煙が何ともいえないねぇ。家に帰って来たようだ」。いつも母が居たという囲炉裏端で「母ちゃんただ今！」とドッカリと座り、火箸や灰ならしをいとおしげに持ちながら、その人は昔の暮らしを皆に語り続けた‥‥

公園の古民家の屋根から薪の煙が立ち昇って「家」が蘇ります。中では『囲炉裏』で薪が燃えています。「いろり守り」が火を焚くのは「萱葺き屋根を長持ちさせるため」と「訪れる方々との炉辺でのふれあい」です。あなたも参加しませんか？会員を追加募集中です。

入会希望者は下記の日時にお出かけください。現場で活動内容など説明させていただきます。

7月5日（土）、7月9日（水）、7月20日（日）、7月24日（木）の9時半～12時

8月の催し物ご案内

◆自然の素材で遊ぶ

日　時●8月1日（金）10:00～12:00および13:00～15:00(時間内何時でも参加自由)
内　容●葉・小枝・実・種・麻布・コルクシート・ベニヤ板等を使い壁掛けを作る
対　象●幼稚園・保育園児（親子）および小学生
材料費●300円～５００円（当日会場で徴収します）
会　場●古民家ゾーン内、工作棟
申　込●不要・自由参加

◆里山の親子そば打ち塾

日　時●8月2日（土）１０時～１３時
内　容●親子で300ｇのそばを打っていただきます。打ち上がったそばはお持ち帰りいただき、昼食用のそばは別途用意します。
募集人員●親子６組・１２名（子どもは小学生以上、応募者多数の場合抽選）
材料費●1組　1，５００円（当日会場で徴収します）
持参する物●エプロン、手拭、持ち帰り用容器
会　場●古民家ゾーン内、工作棟
申　込●往復ハガキに氏名・住所・電話・「そば打ち塾」を明記して、本郷ふじやま公園へ
締め切り●7月１５日(火)必着

◆茶道体験教室

日　時●8月9日（土）１３：００～１６：００
内　容●お茶の作法を直接体験していただきます。気軽な服装でご参加いただけます。初めての方でも大歓迎。道具は一切、講師の方で用意いたします。
定　員●１２名（応募者多数時抽選）　　参加費●５００円（茶菓代等、当日会場で徴収します）
場　所●古民家座敷　　講　師●裏千家　志村宗道
申　込●往復ハガキに氏名・住所・電話・「茶道教室」を明記のうえ、本郷ふじやま公園へ
締め切り●7月9日（水）必着

古民家ゾーンご利用案内

開館時間：午前9時～午後5時
休館日：毎月第1水曜日（祝日の場合はその翌日）、年末年始
入館料：無料

○本郷ふじやま公園運営委員会　〒２４７－０００９　鍛冶ケ谷１－２０
電話８９６－０５９０　ＦＡＸ８９６－０５９３
○緑政局中部公園緑地事務所　電話７１１－７８０２　ＦＡＸ７１２－６２６０